

# 済生会横浜市南部病院の再整備について

健康福祉・医療委員会  
令和3年12月14日  
医療局

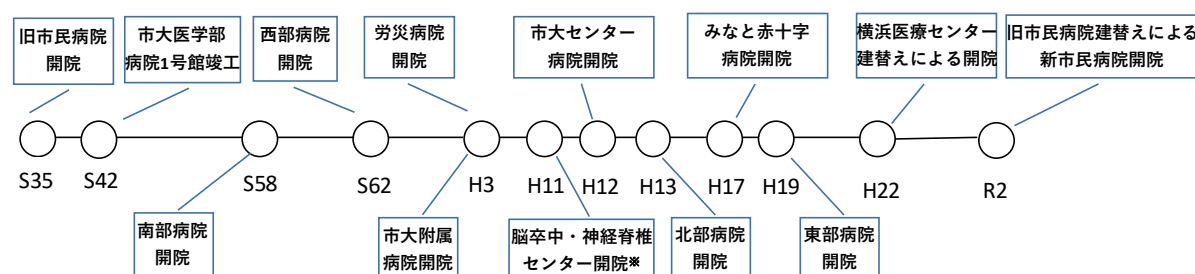
## 1 済生会横浜市南部病院について

- 本市では、市立3病院及び横浜市立大学2病院に加え、市内6方面の基幹的な役割を担う地域中核病院の整備を進めてきました。
- 済生会横浜市南部病院（以下、「南部病院」という。）は、「地域中核病院」の第1号として、社会福祉法人恩賜財団済生会（以下、「済生会」という。）が整備し、運営する方式で、昭和58年に港南台で開院しました。
- 開院から現在に至るまで、本市との協定に基づき、市南部地域の高度急性期・急性期医療の中心的役割を担うほか、救急や災害時医療等の政策的医療を担っています。

【参考1】市立・市大・地域中核病院等の位置



【参考2】市立、市大、地域中核病院の整備経緯



※H11.8～H26.12：脳血管医療センターと呼称

## 2 再整備について

- 開院から38年が経過し、施設の老朽化・狭あい化が課題となっています。
- このため、本市と済生会で協議し、旧港南工場敷地を移転先として、再整備に関する基本協定書を締結しました。現在、令和10年度中の開院に向けて準備を進めています。
- 今年度、「新病院移転事業基本計画」が策定されたことを踏まえ、南部病院にて、基本設計を実施する事業者を選定中です。
- 新病院建設工事にあたっては、費用の縮減及びスケジュールの短縮が見込める※ことから、旧港南工場の建物解体と新病院の建設工事を済生会が一体的に実施します。  
※具体的な費用・期間は今後の設計等を行う中で確定。

【参考3】再整備の想定スケジュール



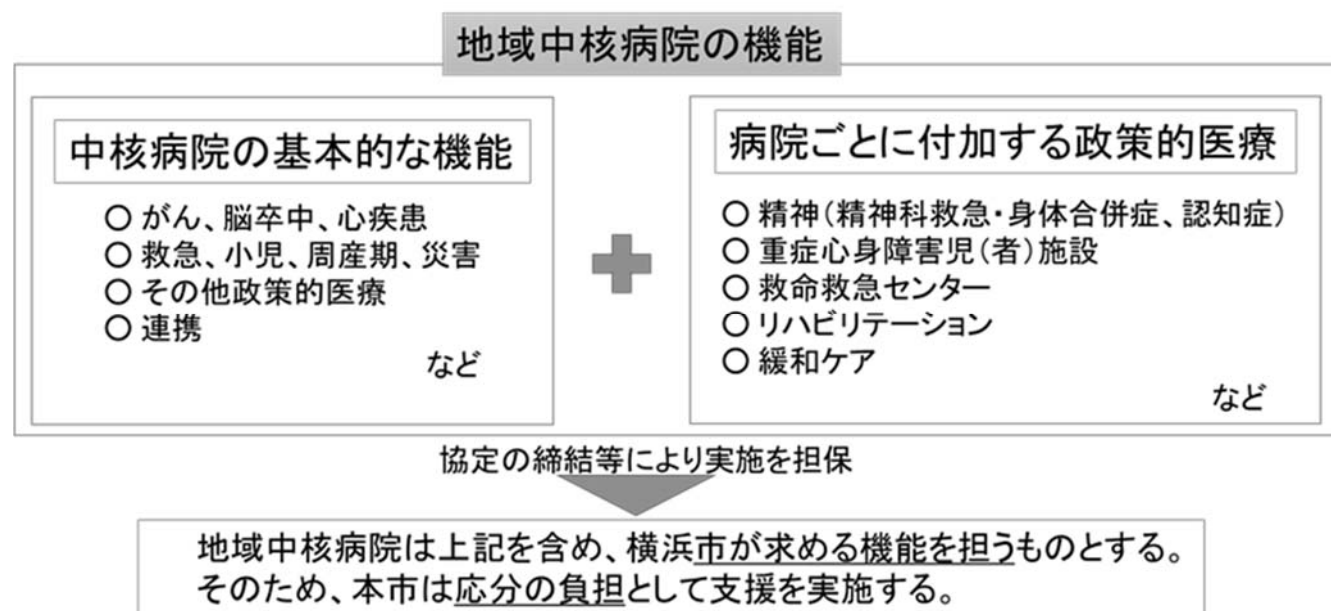
【参考4】再整備に対する支援措置

- ・用地については旧港南工場敷地（市有地）を無償で貸与
- ・設計・工事監理費の1/2、建設費の1/10を支援

	支援内容
用地	無償貸与
設計・工事監理費	1/2
建設費	1/10

### 3 本市が求める新病院の医療機能について

○地域中核病院には、「地域中核病院の病院機能に関するガイドライン」に基づき、小児や周産期、感染症対応等の政策的医療や高度急性期・急性期医療を中心に担うことを求め、本市は応分の負担として支援を実施しています。



項目	本市が求める新病院の医療機能
救急医療	・ 24時間365日の救急応需体制 (横浜市二次救急拠点病院、外傷救急医療体制)
がん	・ 手術、がん薬物療法に加え、放射線療法の充実
心疾患・ 脳血管疾患	・ 急性心筋梗塞や脳卒中等の救急患者に手術、薬物療法、カテーテル治療等 を実施 ・ 24時間365日の救急応需体制 (心疾患・脳血管疾患救急医療体制)
小児医療	・ 24時間365日の救急応需体制 (横浜市小児救急拠点病院) ・ 横浜市小児がん連携病院
周産期医療	・ 地域の産科クリニック等と連携したハイリスク分娩の受入れ ・ N I C U ・ G C U の整備
災害時医療	・ 災害拠点病院として、災害時の医療救護活動において中心的な役割を担う
感染症	・ 新興感染症拡大の際には、横浜市の要請に協力
地域連携	・ 地域連携の中心的な存在として、地域の医療機関、介護・福祉事業所との 結びつきの一層の強化と I C T の積極的な活用を推進

### 4 新病院移転事業基本計画について

#### (1) 新病院の全体計画

救急部門	・ 市内上位の救急車受入台数の継続 ・ 関連部門の近接と専用導線の整備
病棟部門	・ 病床数を 420 床とし、個室率 35%以上を計画 ・ 感染症拡大時に柔軟に対応可能な施設整備 ・ I C U を 10 床に増床
外来部門	・ 患者数は 800 人/日を想定 ・ ユニバーサル外来の導入によるスペースと人員の有効活用 ・ 現状の 31 科体制を継続し、臓器別・関連診療科別のセンター 方式の導入による効率的な診療提供 ・ 外来がん薬物療法室を 20 室に増室
手術部門	・ 手術室を 10 室に増室し、ハイブリッド手術室等を整備 ・ I C U を隣接し、専用通路による往来を可能とする導線計画
診療支援部門	・ 検査部門は全ての機能を同一階に集約

#### (2) 新病院の新たな取組について

将来を見据え、持続可能な政策的医療の提供に向けた本市からの要請に対し、済生会から、以下の新たな取組の検討について提案がありました。

##### ①環境共生・省エネルギーへ配慮した施設計画

カーボンニュートラル・SDG s に配慮した施設計画として、再生可能エネルギー(太陽光・地中熱)の導入を検討します。

##### ②ICTの活用

遠隔接続による「遠隔診療」を実現し、多様な働き方に対応するほか、地域の医療機関、介護・福祉事業所等とのデータ連携へのシステム対応などを推進します。

##### ③地域包括ケアの推進

済生会は、社会的に弱い立場にある人など、すべての人々を地域の一員として受け入れ、共に支え合って生きていくという理念があります。そのため、今まで以上に地域の医療機関、介護・福祉事業所や関係団体等が一体となって連携を強化し、地域包括ケアを推進します。